

③ (有)オフィス結アジア 指伝話メモリ

③ (有)オフィス結アジア 指伝話メモリ(概要)

企業名	有限会社オフィス結アジア
機器・サービス名	指伝話メモリ
問合せ先	高橋宜盟(たかはし・よしあき) メール info/atmark/yubidenwa.jp (注)スパムメール防止のため「@」を「/atmark/」と表記しています。 電話 0466-21-7448
機器・サービスの概要	iPadで使うコミュニケーション支援アプリです。「カードを1枚選ぶ」というシンプルな操作で、流暢な合成音声で話をする、音楽をかける・止める、メッセージやメールを送る、家電を操作するといったことができる仕組みを整えることができます。
機器・サービスの特徴	<p>1. 機器・サービスの機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 写真や絵を使ったカードに流暢な合成音声を加えたインタフェースを容易に作成できます。 ● 五十音表から一文字ずつ選択する方法ではなく、言葉や文章をあらかじめ登録した画面上のカードを1枚選択する操作方法で、伝えたい内容を素早く簡単に合成音声で伝えます。 ● 病気や障害で話をしづらい方のご利用だけではなく、学習教材作成、写真日記、スマートスピーカーへの話しかけや多言語での利用など、使い方は自由です。 ● 自己紹介、あいさつ、あいづち、緊急、おしゃべりなど、カテゴリ別に準備したカードを選択し、よりスムーズな会話のやり取りが可能です。 ● 使用者の病気や障害の程度に合わせたカスタマイズがし易いです。 ● 発話機能は、ネットワーク環境がない場所でも使用可能です。 ● iPadのショートカットアプリを利用して、メールやメッセージの送信や、お持ちのスマートリモコンと連動させた家電操作など、操作を楽にする設定を作ることができます。 <p>2. 情報アクセシビリティの配慮内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 使用する人は、画面を指でタップする操作のほか、スイッチ・音声入力・視線入力・VoiceOverなど、さまざまな利用方法があります。 ● 利用方法は組み合わせても良く、例えば「目が見えず身体の動きが不自由な方が、こめかみの筋電位のスイッチで、指伝話メモリの画面を見ずに耳で聞いて操作する」といった使い方のインタフェースを容易に準備することができます。

③ (有)オフィス結アジア 指伝話メモリ(概要)



指伝話メモリは、絵や写真を使って会話・言語教材・笑顔日記などのiPadのアクセシビリティ機能を活用しやすいカードを自分で作ることができるコミュニケーションアプリです。
 下の画面は、指伝話メモリの様々な使い方サンプルです。



③ (有)オフィス結アジア 指伝話メモリ(概要)

当事者ニーズを踏まえた開発

企画・設計段階から、当事者とリハビリテーション専門家(言語聴覚士)の意見を聞いています。コミュニケーション支援に関するアプリであるからこそ、特定の疾患や障害に特化し過ぎてしまわないようにしました。開発・テスト段階では、さらに作業療法士も加わり、障害当事者・難病当事者と家族・支援者からの意見を取り入れました。特に画面インタフェースの工夫や、入力支援機器との連携での使いやすさについて、エンドユーザの負担が減る工夫を行っています。

試作品のテストおよび製品リリース後の改良段階では、難病相談支援センターや福祉プラザを通じて出会った当事者・支援者の意見を製品機能の改良に反映させました。従来のコミュニケーション支援専用機のメーカーと販売者およびサポートを提供する人たちの意見と、訪問リハビリステーション・訪問看護ステーションなど難病在宅支援を行うリハビリスタッフ等からも実際に使用する場面を確認させてもらうなどの協力を得ました。

企業としての取組

私たちが提供する情報にアクセスしづらい方たちがいることを認識した上で行動することを社内原則として共有しています。

情報提供の1つの方法としてウェブサイトがあるが、私たちの製品のユーザ層を見てもわかるように、そもそもウェブサイトにアクセスできない人たちや、アクセスができて情報を得づらい人たちがいるという現実をチームで共有認識とし、その上で何ができるかを工夫しています。

企業のリソースには限りがあるので、全方位対応を無理に求めず、必要に応じた個別対応でも良いので必要としている人たちに手を差しのべることを会社として方針にしています。

製品開発においては、iPadのプラットフォーム活用をしている製品なので、標準で提供されているアクセシビリティ機能に準拠した時にも使いやすいインタフェースを意識する取り組みをしています。

1つの製品ですべてが解決できるほど、情報提供のあり方はシンプルではありませんが、私たちの製品がコミュニケーション手段の選択肢の1つとして存在すること、それによって情報提供のあり方においても、既存の選択肢を選べる可能性が増えたり新たな選択肢を増やせることにつながることを期待し、製品開発に取り組んでいます。

③ (有)オフィス結アジア 指伝話メモリ(審査結果)

1. 当事者・開発者の視点でみたときに、アクセシビリティ配慮として評価できる点

a. 製品が提供する価値

- 障害者にとってはコミュニケーションができるのは喜びであり、障害者に円滑なコミュニケーション手段を提供する支援アプリケーションとして評価できる。
- 持ち運びが容易なタブレットに搭載可能な機能を持たせたことを高く評価したい。
- ICTの利活用を通じて、病気、事故等で被った障害や日常生活に不便を感じている高齢者の生活、特にコミュニケーション改善を目指している点は優れている。
- 不便解消、よりよい生活、やる気を誘発し、ステップアップ等寄り添っている印象がある。

b. 機能面でのアクセシビリティ配慮

- 障害者や高齢者の様々な感覚器官や身体状況、認知力の程度に合わせて、容易に使用可能である。さらに対象者のレベルや進行状況に合わせてカスタマイズ可能であり、操作が簡単である。
- iPadに標準装備されているアクセシビリティ機能を用いて障害の種類や程度に応じて操作対応を可能としている。
- 指による入力操作の使いやすさ、大ボタンによる操作、VoiceOverやスイッチIFの利用の考慮、「カードを1枚選ぶ」というシンプルな操作でのコミュニケーションが可能である。

2. 当事者にとって重要であるが、今後更なる配慮が期待される点(今後期待したい点)

a. 製品が提供する価値

—

b. 機能面でのアクセシビリティ配慮

—

③ (有)オフィス結アジア 指伝話メモリ(審査結果)

3. 当事者ニーズを踏まえた開発について、優れている点

- 企画設計段階から製品リリース後まで、当事者やその家族、支援者、リハビリテーション専門家、作業療法士、言語聴覚士等、多様な立場の人々の意見を取り入れて開発を進めている点は評価できる。これには、難病相談センターや福祉プラザでの意見収集も含まれている。
- 現場を知っている人が製品の企画製作段階から携わっているので安心して使用することができる。
- 多様な障害を持つ人々を意識して開発を進めてきた点は評価できる。

4. 企業としての取組について、優れている点

- 企業のリソースには限りがあるという認識のもと、全方位対応を無理に求めず、個々人の必要とするものを手掛ける方針。万人向けではなく必要に応じて個別対応も可能な機器を開発するという広い視野を持って取り組んできたこと。
- 社内原則として「情報にアクセスしづらい方がいる」ことを前提として製品開発を心がけている点。
- 障害当事者のコミュニケーションを保障するという社会的使命を満たすべく活動する支援技術の提供企業であるという姿勢。